

よんでもらうの だいすき

倉敷市の図書館

館名	所在地・電話
中央図書館	中央2丁目6-1 Tel425-6030
水島図書館	水島青葉町4-40 Tel446-6918
児島図書館	児島味野2丁目2-37 Tel472-4847
玉島図書館	玉島1丁目2-37 Tel526-6011
船穂図書館	船穂町船穂1702-1 Tel552-9300
真備図書館	真備町箭田47-1 Tel698-9393
ライフパーク倉敷図書室	福田町古新田940 Tel454-0015

小学生に読みたい 月別絵本リスト



倉敷市立図書館

*詳しくは各図書館とライフパーク倉敷図書室に
お問い合わせください。

*ホームページは、[倉敷市立図書館](#) で 

このリストを利用される方へ

- これは小学校の教室での読み聞かせにおすすめする絵本のリストです。
- よく聞かれるテーマを題材にした絵本を、月ごとに、さらに低学年(1・2年生)・中学年(3・4年生)・高学年(5・6年生)別に6冊ずつ選びました。
- 書名のあとの〈 〉内は、その絵本の内容(テーマ)です。
- 記載した絵本はすべて2016年6月までに出版されたもので、絶版・品切れにかかわらずリストに載せています。
- これらの絵本は倉敷市立図書館・ライフパーク倉敷図書館に所蔵されています。

2017年 3月発行

目次 書名	ページ	掲載月
*あ行		
あいててて！ 18	6月高
あしたのてんきははれ？くもり？あめ？ 17	6月中
あしなが 29	10月中
あたごの浦 26	9月中
あたまがいけ 32	11月中
あたらしいともだち 9	3月高
あつさのせい？ 21	7月高
アナベルとふしぎなけいと 2	1月中
あひるだってば！うさぎでしょ！ 25	9月低
ありがとう、フォルカーせんせい 36	12月高
アンドルーのひみつきち 21	7月高
いきのびる魔法から「うつくしいのはら」 24	8月高
一ねんせいになったら 10	4月低
いつのまにかのまほう 19	7月低
いっぼんの木のそばで 15	5月高
犬の目 18	6月高
いのちの木 5	2月中
いのちのまつり「ヌチヌグスージ」 23	8月中
いもいもほりほり 31	11月低
いわたくんちのおばあちゃん 24	8月高
うえきばちです 14	5月中
ウグイスホケキョ 4	2月低
うしはどこでも「モ〜！」 33	11月高
うちゅうの目 12	4月高
うめじいのたんじょうび 16	6月低
うめのみとり 16	6月低
ええところ 11	4月中
エドワルド 11	4月中
エリザベスは本の虫 30	10月高
えんぎかつぎのだんなさん 3	1月高
えんまのはいしゃ 17	6月中
王さまライオンのケーキ 9	3月高
おおきいツリーちいさいツリー 34	12月低

目次 書名	ページ	掲載月
*あ行		
おおきなかぼちゃ 28	10月低
おかあちゃんがつくったる 14	5月中
おかしなゆきふしぎなおおり 4	2月低
おじいちゃんちのたうえ 13	5月低
おじいちゃんのコート 33	11月高
おぞうにくらべ 1	1月低
おつきさまはまあるくなくっちゃ！ 25	9月低
オットー 24	8月高
鬼のかいぎ 18	6月高
おにのめん 36	12月高
おばあさんのしんぶん 30	10月高
おばあちゃんのえほうまき 5	2月中
おばあちゃんのおはぎ 27	9月高
お化けの真夏日 23	8月中
おはなしのもうふ 1	1月低
おふくさん 4	2月低
おふろにはいろろ 4	2月低
おむすびさんちのたうえのひ 13	5月低
おもちのきもち 1	1月低
*か行		
かあさんをまつふゆ 6	2月高
かえってきた風来坊 30	10月高
かえるのいえさがし 32	11月中
かえるのどびん 21	7月高
かえるをのんだととさん 4	2月低
カタッポ 35	12月中
かとりせんこう 22	8月低
かようびのよる 14	5月中
がらくた学級の奇跡 12	4月高
きぼう 9	3月高
きみはきみだ 9	3月高
きらきら 6	2月高

目次 書名	ページ	掲載月
*か行		
きらきは・は・歯 17	6月中
くさる 22	8月低
くだものだもの 22	8月低
くものすおやぶんとりものちょう 10	4月低
黒グルミのからのなかに 30	10月高
くわずによぼう 15	5月高
皇帝にもらった花のたね 17	6月中
こぞうのはつゆめ 2	1月中
ことりをすきになった山 12	4月高
このあとどうしちやおう 3	1月高
このよでいちばん大きな男の子 15	5月高
このよでいちばんはやいのは 21	7月高
こんにちワニ 13	5月低
*さ行		
さかさのこもりくんとてんこもり 10	4月低
さくら 9	3月高
ざぼんじいさんのかきのき 31	11月低
さる・るるる／さる・るるる One more／さる・るるる・る 15	5月高
3びきのかわいいオオカミ 27	9月高
300年まえから伝わるとびきりおいしいデザート 36	12月高
3ぶんもまてないよ！ 14	5月中
さんまいのおふだ 28	10月低
しげちゃん 10	4月低
じごくのそうべえ 5	2月中
しずかに！ここはどうぶつのとしょかんです 29	10月中
しにがみさん 21	7月高
しまふくろうのみずうみ 26	9月中
しゃっくりがいこつ 21	7月高
十二支のはじまり 35	12月中
商人とオウム 15	5月高
すいかのめいさんち 22	8月低
すみれとあり 8	3月中
ゼラルダと人喰い鬼 32	11月中

目次 書名	ページ	掲載月
*さ行		
そらいろ男爵 24	8月高
それならいいいえありますよ 8	3月中
*た行		
だいじょうぶだいじょうぶ 26	9月中
たかこ 26	9月中
たくさんのドア 9	3月高
だってだつてのおばあさん 25	9月低
たなぼた 20	7月中
たぬきのおつきみ 25	9月低
たんぼぼ 7	3月低
ちいさなつきがらす 35	12月中
地球をほる 27	9月高
月夜のみみずく 3	1月高
つきをあらいに 25	9月低
つくし 4	2月低
つくもがみ 24	8月高
てんごくのおとうちゃん 17	6月中
とうさんはタツノオトシゴ 18	6月高
どこでもない場所 3	1月高
としょかんねずみ 29	10月中
としょかんライオン 30	10月高
トマトさん 19	7月低
ともだち 8	3月中
ともだちやもんな、ぼくら 20	7月中
どろぼうがっこう 12	4月高
どんぐりのき 29	10月中
とんでもない 8	3月中
どんなかんじかなあ 34	12月低
どんぶらどんぶら七福神 1	1月低

目次 書名	ページ	掲載月
*な行		
ないたあかおに 6	2月高
中田くん、うちゅうまで行こ！ 6	2月高
中をそうぞうしてみよ 26	9月中
なつのいちにち 22	8月低
なつのおとずれ 16	6月低
ナミチカのきのこがり 28	10月低
にじいろのさかな 23	8月中
ねこガム 13	5月低
ねんどぼうや 31	11月低
*は行		
はじめまして 10	4月低
はしれ！カボチャ 29	10月中
はちうえはぼくにまかせて 23	8月中
はっきよいどーん 31	11月低
バナナじけん 14	5月中
はなのさくえほん 7	3月低
はははのはなし 17	6月中
はるじゃのばけつ 7	3月低
ハンタイおばけ 5	2月中
光の旅 かげの旅 3	1月高
ひがんばん 27	9月高
ヒギンスさんととけい 18	6月高
びっくりまつぼっくり 31	11月低
1つぶのおこめ 33	11月高
ひとりひとりのやさしさ 12	4月高
ひみつのカレーライス 32	11月中
162ひきのカマキリたち 23	8月中
ひらがなにつき 27	9月高
ひるまのおつきさま 25	9月低
ピンクがすきってきめないで 35	12月中
びんぼうがみとふくのかみ 34	12月低
ふしぎなガーデン 11	4月中
ふしぎなたけのこ 11	4月中
ふしぎなともだち 12	4月高

目次 書名	ページ	掲載月
*は行		
ふしぎなナイフ 11	4月中
ふゆめがっしょうだん 5	2月中
へいわってすてきだね 22	8月低
ヘンリー・ブラウンの誕生日 36	12月高
ぼくからみると 23	8月中
ぼくのかえりみち 13	5月低
ぼくのこえがきこえますか 24	8月高
ぼくはへいたろう 20	7月中
干し柿 33	11月高
ほしじいたけほしばあたけ 32	11月中
ポットくんとミミズくん 11	4月中
ほんとうのことをいってもいいの？ 35	12月中
*ま行		
まあ、なんてこと！ 28	10月低
まっくろネリノ 10	4月低
マッチ箱日記 36	12月高
まのいいりょうし 33	11月高
マララさんこんにちわ 35	12月中
みーんないすのすきまから 7	3月低
みかんです 1	1月低
水は、 20	7月中
みにくいシュレック 6	2月高
ミリーのすてきなぼうし 8	3月中
みるなのくら 8	3月中
みんなで7だんね 14	5月中
むしばあちゃん 16	6月低
めっきらもっきらどおんどん 19	7月低
もうすぐおしょうがつ 36	12月高
もぐてんさん 20	7月中
もしも地球が…？ 18	6月高
もちづきくん 1	1月低
もちもちおもち 2	1月中
もったいないばあさん 16	6月低
もっちゃうもっちゃうもうもっちゃう 27	9月高

目次
書名

ページ 掲載月

***ま行**

もっどもっとおおきなおなべ 31	11月低
もりのひなまつり 7	3月低
モンゴルの黒い髪 33	11月高

***や行**

やさいさん 28	10月低
やぶかのはなし 19	7月低
やまこえのこえかわこえて 28	10月低
やまなしもぎ 30	10月高
ゆうきをだして！ 7	3月低
ゆうれいとすいか 19	7月低
ゆうれいとなきむし 16	6月低
ゆき 5	2月中
ゆきだるまはよるがすき！ 34	12月低
雪の上のなぞのあしあと 2	1月中
雪の写真家ベントレー 3	1月高
ゆきのともだち 2	1月中
ゆきのよあけ 6	2月高
よーいどん！ 13	5月低
よかったねネッドくん 32	11月中
よしおくんがぎゆうにゆうをこぼしてしまったおはなし 2	1月中
4こうねんのぼく 20	7月中

***ら行**

ラブリーオールドライオン 26	9月中
りゆうがあります 15	5月高
りょうりをしてはいけないなべ 29	10月中

***わ行**

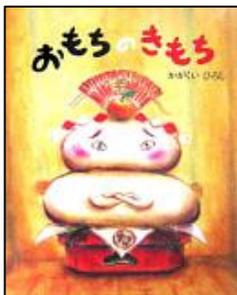
わがはいはのっぺらぼう 19	7月低
わたし 34	12月低
わたしはあかねこ 34	12月低

1月

1・2年生に読みたい絵本

『おもちのきもち』 〈お正月・ユーモア〉
かがくいひろし／作・絵 講談社

床の間に飾られた鏡餅。
でっぴり、ふくふくとした立派な姿を
していますが、「食べられたくない!」
と逃げ出して…。
意外な結末に声が上がります。



『もちづきくん』 〈お正月〉
中川ひろたか／作 長野ヒデ子／絵 ひさかたチャイルド
餅つきのページは、繰り返しめくれば臨場感もたっぷり。

『みかんです』 〈冬・くだもの〉
川端誠／作 文化出版局
種類や食べ方、遊び方まで、みんなの大好きなみかんの魅力が満載。

『どんぶらどんぶら七福神』 〈吉祥・えんぎもの〉
みきつきみ／文 柳原良平／画 こぐま社
語呂のいい数え歌と明るく楽しい絵で七福神が笑顔と幸せを届けます。

『おはなしのもうふ』 〈冬・思いやり〉
フェリーダ・ウルフ／ハリエット・メイ・サヴィッツ／文
エレナ・オドリオゾーラ／絵 さくまゆみこ／訳 光村教育図書
村の人たちが受け取ったあたたかいプレゼントを作ったのは…。

『おぞうにくらべ』 〈お正月・食文化〉
宮野聡子／作 講談社
1月にこそ楽しみたい郷土色豊かなお雑煮を紹介する本。

1月

3・4年生に読みたい絵本

『アナベルとふしぎなけいと』 〈冬・思いやり〉
マック・バーネット／文 ジョン・クラッセン／絵
なかがわちひろ／訳 あすなろ書房

いくらでも編める不思議な毛糸で、ア
ナベルは街中の人にセーターを編み始
めます。鮮やかな糸色が黒白の街に徐
々に広がって、目から心へと優しさが
伝わる絵本。



『雪の上のなぞのあしあと』 〈科学・雪国〉
あべ弘士／さく 福音館書店
旭川動物園飼育係の作家が実話を絵本化。臨場感溢れる展開は秀逸。

『もちもちおもち』 〈言葉遊び〉
庄司三智子／著 岩崎書店
歯切れの良いフレーズで美味しいお餅がたくさん登場します。

『よしおくんがぎゅうにゅうを
こぼしてしまったおはなし』 〈ユーモア〉
及川賢治／竹内繭子／作・絵 岩崎書店
給食でおなじみの牛乳瓶から牛乳とユーモアが溢れてとまりません。

『ゆきのともだち』 〈冬・友だち〉
イアン・ホイブ／さく ティファニー・ビーク／え 木坂涼／やく 理論社
本好きの内気なピッグは、ある日、本の中の3つの言葉に導かれて…。

『こぞうのはつゆめ』 〈お正月〉
長谷川摂子／文 長谷川義史／絵 岩波書店
縁起の良い初夢をかなえたい小僧さんがハラハラドキドキの難問に挑みます。

1月

5・6年生に読みたい絵本

『光の旅かげの旅』 〈トリックアート〉

アン・ジョナス／著
内海まお／訳 評論社

黒白2色で描かれた絵がまるでドライブの景色のように続きます。上下反転すると、また新しい景色が！高学年だから楽しめるモノトーンのしかけ絵本。



『えんぎかつぎのだんなさん』 〈冬・落語〉

桂文我／話 梶山俊夫／絵 福音館書店

縁起を担ぎたがる店主に丁稚や物売りが取り入ろうとしますが…。

『どこでもない場所』 〈トリックアート〉

セーラ・L. トムソン／文 ロブ・ゴンサルヴェス／絵
金原瑞人／訳 ほるぷ出版

だまし絵の技法の美しいイラストたちが、不思議な世界へ誘います。

『雪の写真家ベントレー』 〈科学・雪・伝記〉

ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン／作
メアリー・アゼアリアン／絵 千葉茂樹／訳 BL出版
生涯を雪の研究にささげたウィリー・ベントレーの伝記絵本。

『このあとどうしちやおう』 〈ユーモア・死〉

ヨシタケシンスケ／作 ブロンズ新社

亡き祖父のノートから、僕は「死ぬこと」と深く明るく向き合います。

『月夜のみみずく』 〈冬・自然〉

ジェイン＝ヨーレン／詩 くどうなおこ／訳

ジョン＝ショーエンヘル／絵 偕成社

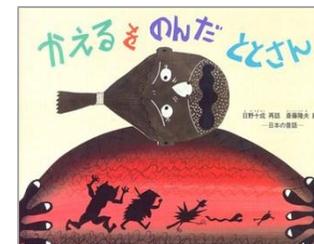
月下の雪原で、みみずくを探す父娘の胸の高鳴りと大自然との交歓。

2月

1・2年生に読みたい絵本

『かえるをのんだととさん』 〈節分・鬼〉
日野十成／再話 斎藤隆夫／絵 福音館書店

腹が痛くなり、和尚さまに相談に行ったととさん。「腹に虫がいるから蛙を飲むといい」と言われ飲むと、蛙が虫を食べ痛みが治まった。ところが…。蛇、雉、猟師、鬼と次々に飲み、最後は節分の豆で鬼を追い出す昔話。



『おふくさん』 〈鬼〉

服部美法／ぶん・え 大日本図書

怖い顔をした鬼を笑わせようと、おふくさんたちはあれこれ考えます。

『おかしなゆきふしぎなこおり』 〈冬・写真絵本〉

片平孝／写真・文 ポプラ社

アイスモンスターや氷の滝など雪や氷が作る不思議な世界が満載。

『おふろにはいろいろ』 〈ユーモア〉

高部晴市／作・絵 鈴木出版

いろいろな動物とお風呂に入るリズムカルで楽しい絵本。

『ウグイスホケキョ』 〈早春・科学〉

三宮麻由子／ぶん 飯野和好／え 福音館書店

歌の名手の鶯も初めは上手く歌えません。何度も何度も練習して…。

『つくし』 〈早春・科学〉

甲斐信枝／さく 福音館書店

つくしの成長と土の中の様子を分りやすく紹介しています。

2月

3・4年生に読みたい絵本

『おばあちゃんのえほうまき』
野村たかあき／作・絵 佼成出版社
〈節分〉

今日は節分。きりちゃんは、おばあちゃんと一緒に恵方巻きを作ります。玄關にイワシの頭を飾り、恵方巻きを食べて、豆を撒く。
日本の行事を伝える絵本。



『ゆき』 〈冬・雪〉

ユリ・シュルヴィッツ／作 さくまゆみこ／訳 あすなる書房
灰色だった街が、少しずつ雪に包まれて真っ白に輝いていきます。

『ふゆめがっしょうだん』 〈冬の詩・写真絵本〉

富成忠夫・茂木透／写真 長新太／文 福音館書店
冬芽がいろいろな動物や人の顔に見える不思議でおもしろい絵本。

『ハンタイおばけ』 〈自我〉

トム・マックレイ／文 エナ・オドリガラー／絵 青山南／訳 光村教育図書
ハンタイおばけが来てからは何もかもが反対に！さあ、どうする？

『いのちの木』 〈いのち〉

ブリッタ・テッケントラップ／作絵 森山京／訳 ポプラ社
永遠の眠りについてのキツネ。みんなの心の中で生き続けます。

『じごくのそうべえ

～桂米朝・上方落語・地獄八景より』 〈鬼・落語〉

田島征彦／作 童心社
そうべえが地獄の中を大暴れ。関西弁と迫力ある絵が魅力の一冊。

2月

5・6年生に読みたい絵本

『ないたあかおに』 〈鬼・友だち〉
はまだひろすけ／ぶん いけだたつお／え
偕成社

村の人たちと仲良くなりたい赤鬼のため、悪者を演じた青鬼。自分のことを深く思ってくれる青鬼の優しさに涙を流す赤鬼。心優しい鬼たちの友情を描いた不朽の名作。



『きらきら』 〈冬の詩・写真絵本〉

谷川俊太郎／文 吉田六郎／写真 アリス館
自然が作り出した美しい雪の結晶。きらきらと輝きます。

『中田くん、うちゅうまで行こ！』 〈友だち〉

さえぐさひろこ／文 佐藤繁／絵 童心社
手袋を介して気付いた友だちの心情。思いやりが伝わる絵本。

『ゆきのよあけ』 〈冬・いのち〉

いまむらあしこ／文 あべ弘士／絵 童心社
母とはぐれた野うさぎが大自然の中を力強く生き抜きます。

『かあさんをまつふゆ』 〈冬・家族〉

ジャクリーン・ウッドソン／文 E. B. ルイス／絵
さくまゆみこ／訳 光村教育図書
出稼ぎに行った母の帰りを待つ少女の心を描いた絵本。

『みにくいシュレック』 〈愛・自立〉

ウィリアム・スタイグ／文と絵 おがわえつこ／訳 セラー出版
みにくいシュレックが運命の王女と出会うため旅に出ます。

3月

1・2年生に読みたい絵本

『もりのひなまつり』 〈雛祭り〉
こいでやすこ／さく 福音館書店

森の雛祭りにお雛様を連れて
出かけたねずみばあちゃん。
楽しい雛祭りをすごしますが、
家に帰りお雛様のよごれた姿に
びっくり！ここからもねずみ
ばあちゃん大活躍。ワクワクする
お雛様の絵本です。



『はるじゃのばけつ』 〈春・桜〉
白土あつこ／作・絵 ひさかたチャイルド
心がほっこりして、優しい気持ちになれる春にぴったりの絵本。

『はなのさくえほん』 〈春〉
いしかわこうじ／作・絵 童心社
色々な種や球根が育って鮮やかな花を咲かせるしかけ絵本。

『たんぽぽ』 〈春〉
平山和子／ぶん・え 福音館書店
身近な花、たんぽぽの生命の営みをわかりやすく書いた一冊。

『みーんないすのすきまから』 〈ユーモア〉 フレーベル館
マーガレット・マーヒー／作 ポリー・ダンバー／え もとしたいづみ／やく
なくしたものはイスの隙間にある？文も韻をふんでいる楽しい一冊。

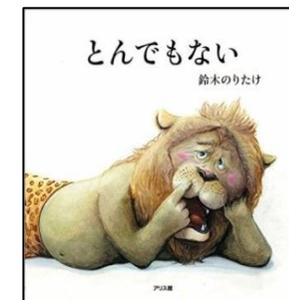
『ゆうきをだして！』 〈成長〉
くすのきしげのり／原作 いもとようこ／文・絵 佼成出版社
新しく何かに挑戦する時、背中を押してくれる一冊。

3月

3・4年生に読みたい絵本

『とんでもない』 〈自分〉
鈴木のりたけ／作・絵 アリス館

自分になくて他人にあるものは
よく見える。本当にそうかな？
本人は「とんでもない」って
思っていたりする。動物たちの
悩みをユーモラスに描いた一冊。
あなたはあなたのままでいい
ことが伝わります。



『ミリーのすてきなぼうし』 〈想像力〉
きたむらさとし／作 BL出版
ミリーにしか見えないミリーだけの特別な帽子。さてどんな帽子？

『すみれとあり』 〈自然〉
矢間芳子／さく 森田竜義／監修 福音館書店
スマイルの花の細部まで描かれた美しい科学絵本。

『それならいいえありますよ』 〈引っ越し・ユーモア〉
澤野秋文／作 講談社
家さがしの名人、猫のちゃまるが ぎんたにぴったりの家を探すお話。

『みるなのくら』 〈春・昔話〉
おざわとしお／再話 赤羽末吉／画 福音館書店
鶯の鳴き声に誘われ山に迷い込んだ若者が見たのは、夢か幻か？

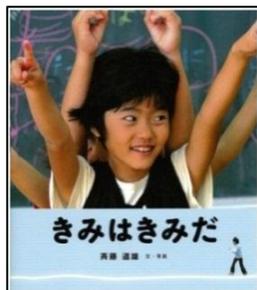
『ともだち』 〈友だち・成長〉
太田大八／作・絵 講談社
20年後、同級生達は何してる？春、旅立ちの時期に読みたい一冊。

3月

5・6年生に読みたい絵本

『きみはきみだ』 〈自己肯定・障がい〉
斉藤道雄／文・写真 子どもの未来社

ここは東京品川にある明晴学園。手話を使い自由に話し、のびのびと自然に学校生活を送っている子どもの写真絵本。子どもたち一人一人の生き生きとした表情が素敵な一冊です。



『王さまライオンのケーキ』 〈数・算数〉
マシュー・マケリゴット／作・絵 野口絵美／訳 徳間書店
ケーキを分けるよ。半分の半分はいくつ？算数が楽しくわかる一冊。

『きぼう ～こころひらくとき』 〈希望〉
ローレン・トンプソン／作 千葉茂樹／訳 ほるぷ出版
心を開いてさえいれば『きぼう』はいつでも君の側にある。写真絵本。

『さくら』 〈自然〉
長谷川摂子／文 矢間芳子／絵・構成 福音館書店
花を咲かせるには準備が必要、桜の木の一年を一冊に凝縮した絵本。

『たくさんのドア』 〈未来〉
アリス・マギー／文 ユ・テソ／絵 なかがわちひろ／訳 主婦の友社
新しい未来への第一歩を踏み出す勇気を与えてくれる一冊。

『あたらしいともだち』 〈芸術・友だち〉
トミー・ウンゲラー／作 若松宣子／訳 あすなろ書房
どんな物でもアートの材料になる？新しく作る楽しさが伝わる一冊。

4月

1・2年生に読みたい絵本

『はじめまして』 〈あいさつ・お話会の導入〉
新沢としひこ／作 大和田美鈴／絵 鈴木出版

小学校に入学したら
新しい友達ができます。
まずは、皆を知るために
ご挨拶しましょう。
お話の導入に使えます。



『一ねんせいになったら』 〈入学〉
まど・みちお／詞 かべやふよう／絵 ポプラ社
一年生になったら友達100人できるかな？お話の導入に使えます。

『くものすおやぶんどりものちょう』 〈春〉
秋山あゆ子／さく 福音館書店
春らんまん、くものす親分とお菓子を盗む盗賊の時代活劇絵本。

『さかさのこもりくんとてんこもり』 〈学校〉
あきやただし／作・絵 教育画劇
てんこもりしょうがっこうは逆さまな学校。ユニークな学校です。

『しげちゃん』 〈入学・名前〉
室井滋／作 長谷川義史／絵 金の星社
男の子に間違えられる名前の女の子が自分の名前を好きになるお話。

『まっくろネリノ』 〈友だち〉
ヘルガ＝ガルラー／さく やがわすみこ／やく 偕成社
まっくろのネリノの黒い色が兄弟をたすける時に役立ったお話。

4月

3・4年生に読みたい絵本

『ポットくんとミミズくん』 〈春〉
真木文絵／ぶん 石倉ヒロユキ／え 福音館書店

ポットくんは夏にたくさん
花が咲きました。それは、
春にミミズくんが糞をして
土を作ってくれたから…。
ミミズに詳しくなれます。



『ええところ』 〈友だち〉
くすのきしげのり／作 ふるしょうようこ／絵 学研教育出版
自分のいいところと友達のいいところを考える絵本です。

『エドワルド ～せかいでいちばんおぞましいおとこのこ』
ジョン・バーンガム／作 千葉茂樹／訳 ほるぷ出版 〈友だち〉
悪戯なエドワルドが世界中の誰よりも素敵な男の子になるお話。

『ふしぎなガーデン ～知りたがりやの少年と庭』 〈自然〉
ピーター・ブラウン／作 千葉茂樹／訳 ブロンズ新社
少年は庭のない町に草や木を植えて緑豊かな町にしました。

『ふしぎなたけのこ』 〈春〉
松野正子／さく 瀬川康男／え 福音館書店
飛びついた たけのこはどんどん伸びて村人を幸せにするお話。

『ふしぎなナイフ』 〈お話会の導入〉
中村牧江／さく 林健造／さく 福音館書店
ナイフが曲る！ねじれる！割れる！不思議なナンセンス絵本。

4月

5・6年生に読みたい絵本

『ふしぎなともだち』 〈友だち〉
たじまゆきひこ／作 くもん出版

自閉症のやっくんとは、
小学校でであったゆうすけ。
言葉で話はできないが、
中学生、そして大人になっても
心でわかりあえる友達です。



『うちゅうの目～まど・みちお詩集』 〈お話会の導入〉
まど・みちお／詩 奈良美智／写真 フォイル
「けしゴム」ほか、どの詩もお話の導入に使える詩集です。

『がらくた学級の奇跡』 〈学校〉
パトリシア・ポラッコ／作 入江真佐子／訳 小峰書店
障がいのある子ども達が協力して飛行機を飛ばすお話です。

『ことりをすきになった山』 〈春・友だち〉
エリック＝カール／絵 アリス＝マクレラン／文 ゆあさふみえ／訳 偕成社
毎年、春におとずれる小鳥とそれを心待ちにする山の話。

『どろぼうがっこう』 〈学校〉
かこさとし／絵と文 偕成社
一番悪い泥棒になるため学校では、どんなことを教えるのかな？

『ひとりひとりのやさしさ』 〈友だち・学校〉
ジャクリーン・ウッドツ／文 E. B. ルイス／絵 さくまゆみこ／訳 BL出版
いじめとは？やさしさとは？どんなことかを考える絵本。

5月

1・2年生に読みたい絵本

『ぼくのかえりみち』 〈下校〉
ひがしちから／作 B L 出版

白線の上を歩いて帰ることに決めたそらくんですが、さまざまな難関が立ちはだかります。思わずドキドキ、絵本の世界に引き込まれます。



『こんにちワニ』 〈言葉遊び〉
中川ひろたか／文 村上康成／絵 PHP 研究所
ユーモアたっぷりのイラストを添えた、言葉遊びが楽しい絵本。

『よーいどん!』 〈運動会〉
中川ひろたか／文 村上康成／絵 童心社
元気いっぱい夢いっぱい! 面白さ満載の楽しい運動会の絵本です。

『おむすびさんちのたうえのひ』 〈田植え〉
かがくいひろし／作・絵 PHP 研究所
面白いキャラクターがいっぱいの、楽しい田植えの絵本。

『おじいちゃんちのたうえ』 〈田植え〉
さこもみ／作 講談社
一家総出で行う田植えの一日が、気持ちよく描かれています。

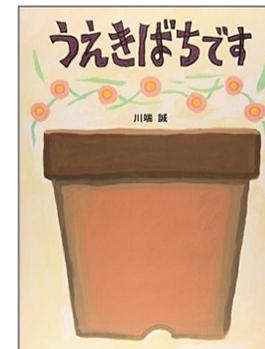
『ねこガム』 〈ユーモア〉
きむらよしお／作 福音館書店
ガムを噛んでいたら、あらららら…。最後まで目が離せません。

5月

3・4年生に読みたい絵本

『うえきばちです』 〈春・言葉遊び〉
川端誠／作 B L 出版

うえきばちに、のっぺらぼうを植えて、水をやったらどうなる? 大人にも子供にも大ウケ。おはなし会の導入部分にもピッタリです。



『バナナじけん』 〈ユーモア〉
高島那生／作 B L 出版
落ちたバナナを食べてはポイッ。皆で笑える楽しいお話。

『3ぷんもまてないよ!』 〈ユーモア・スリル〉
土屋富士夫／作 佼成出版社
「カップおはなし」にお湯を注いで、3分待てなかったひでくんは…。

『みんなで7だんね』 〈運動・友だち〉
宮川ひろ／作 長谷川知子／絵 ポプラ社
とびばこを通して、クラスがひとつになっていく様子を描きます。

『おかあちゃんがつくったる』 〈母の日・家族〉
長谷川義史／作 講談社
あったかくて、せつなくて、でも笑える家族の物語。

『かようびのよる』 〈ミステリー〉
デヴィッド・ウィーズナー／作・絵 当麻ゆか／訳 徳間書店
火曜日の夜8時頃、何かが起こる…。1パケ大の絵に釘付けです。

5月

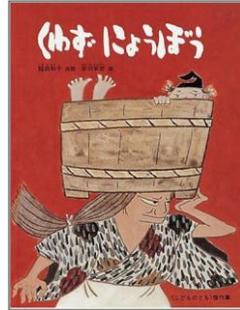
5・6年生に読みたい絵本

『くわずにようぼう』 〈端午の節句・昔話〉

稲田和子／再話 赤羽末吉／画
福音館書店

よく働いて飯を食わない女房が欲しいという、欲張りな男に起こった怖い話。味わいのある絵と、力強い語り引き込まれます。

「菖蒲」と「よもぎ」が鍵を握ります。



『このよでいちばん大きな男の子』 〈こどもの日〉

キム セシル／ぶん クォン ジェヨン／え かみやにじ／やく 少年写真新聞社
山より大きな男の子が踊ると、村中大騒ぎ。韓国・朝鮮のお話。

『さる・るるる』 『さる・るるるOne more』 『さる・るるる・る』

五味太郎／作・画 絵本館 〈言葉遊び〉
「る」で終わる動詞だけで展開する、驚きの発想とリズムの絵本。

『りゆうがあります』 〈発想〉

ヨシタケシンスケ／作・絵 PHP研究所
ハナをほじることに、ちゃんと理由があります！面白発想絵本。

『商人とオウム』 〈鳥・知恵〉

ミーナ・ジャバアービン／文 ブルース・ホワットリー／絵
青山南／訳 光村教育図書
ペルシャ商人とオウムの大勝負！ペルシャに伝わるお話。

『いっぼんの木のそばで』 〈自然・時代の移り変わり〉

G.ブライアン・カラス／作 いしづちひろ／訳 B.L出版
移り変わっていく人々の暮らしを、年代を追って描いた絵本。

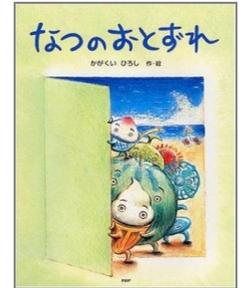
6月

1・2年生に読みたい絵本

『なつのおとずれ』 〈初夏〉

かがくいひろし／作・絵 PHP研究所

そろそろ梅雨明け。
いろいろな夏のもので、おひさまに
呼ばれて、「よーい どーん」で、
わっせわっせとやってきます。



『うめじいのたんじょうび』 〈初夏〉

かがくいひろし／作 講談社
うめじい、なんさいになったの？誕生日のお祝いどうしよう？

『うめのみとり』 〈初夏〉

市川宣子／ぶん 城芽ハヤト／え 福音館書店
梅の実ってどうやって取るの？なにつくる？

『むしばあちゃん』 〈歯〉

荻田澄子／さく おかべりか／え 佼成出版社
むしばあちゃんが暴れないように、歯磨きしなきゃね。

『ゆうれいとなきむし』 〈歯〉

くろだかおる／作 せなけいこ／絵 ひかりのくに
泣き虫のいくじなし。おばけの歯医者さんなら、こわくない？

『もったいないばあさん』 〈環境〉

真珠まりこ／作・絵 講談社
もったいないの気持ちで物を大切にしないと、やってくるよ。

6月

3・4年生に読みたい絵本

『皇帝にもらった花のたね』 〈父の日・寓話〉
デミ／作・絵 武本佳奈絵／訳 徳間書店

花を育てるのが大好きなピン。
皇帝からもらった花のたねを
大事に大事にお世話したのに…。
本当のことを伝える勇気をくれる
お父さんの言葉が胸にしみます。



『てんごくのおとうちゃん』 〈父の日・家族〉
長谷川義史／作 講談社

はいけい、てんごくのおとうちゃん、元気になっていますか？

『あしたのてんきははれ？くもり？あめ？』 〈天気〉

野坂勇作／さく 根本順吉／監修 福音館書店
夕焼けは晴れ、朝焼けは雨。天気のことわざいろいろ。

『えんまのはいしゃ』 〈歯〉

くすのきしげのり／作 二見正直／絵 偕成社
歯を大事にしないと、鬼でも閻魔様でも大変なことになるよ！

『きらきはは・は・歯』 〈歯〉

室井滋／文 長谷川義史／絵 世界文化社
歯は大事！虫歯だけではなく、歯周病にも気を付けて。

『はははのはなし』 〈歯〉

加古里子／ぶん・え 福音館書店
大切な歯、何本ある？子どもの歯は20本。

6月

5・6年生に読みたい絵本

『とうさんはタツノオトシゴ』 〈父の日・家族〉
エリック・カール／さく さのようこ／やく
偕成社

タツノオトシゴの父さんのおなかの
ポケットに生み落とされた卵。
「ぼくらのたまごまもるからね」
大事に守っているのは、タツノオトシゴ
だけではないよ。いろいろな魚の
父さんが大事に卵を守っています。



『もしも地球が…？』 〈環境〉

ハスター・ゴダード／文 ポーラ・クルナン／絵 せなあいこ／訳 評論社
地球が健康でいられることの大切さを伝える絵本。

『鬼のかいぎ ～新・今昔物語絵本』 〈環境〉

立松和平／文 よしながこうたく／絵 新樹社
自然と人間について、今昔物語の百鬼夜行を元に考える。

『ヒギンスさんととけい』 〈時の記念日〉

パット・ハッチンス／さく たなかのぶひこ／やく ほるぷ出版
時計の読み方を覚えようとしている子どもたちに。

『犬の目 ～上方落語』 〈寄席の日・落語〉

桂米平／文 いたうひろし／絵 フェリシモ出版
腕のいい目医者さんと、あわてんぼうの男のやりとりが面白い。

『あいてて！ ～グリム童話』 〈ユーモア〉

グリム／[原作] ナタリー・バビット／再話
フレッド・マルチェリーノ／絵 せなあいこ／訳 評論社
グリムのお話を、ユーモアあふれる洒落た絵本に。

7月

1・2年生に読みたい絵本

『めっきらもっきらどおんどん』 〈おばけ〉

長谷川撰子／作 ふりやなな／画 福音館書店

遊ぶ友だちがみつからない かんた。
大きな木から聞こえる声に誘われて
不思議な世界に行ってしまいます。
そこで出会ったへんてこなばけもの
たちと楽しく遊んで過ごすのですが…。



『やぶかのはなし』 〈夏・科学〉

栗原毅／ぶん 長新太／え 福音館書店

やぶかの視点で、やぶかの一生がわかりやすく書かれています。

『トマトさん』 〈夏〉

田中清代／さく 福音館書店

トマトさんはみんなのように小川で水遊びをしたいのですが…。

『いつのまにかのまほう』 〈成長・科学〉

大橋政人／ぶん 小野かおる／え 福音館書店

アサガオは気が付くと大きくなっている。いったい、いつのまに？

『わがはいはのっぺらぼう』 〈おばけ〉

富安陽子／文 飯野和好／絵 童心社

のっぺらぼうの仕事は人をおどろかすこと。そろそろ、でかけるか。

『ゆうれいとすいか』 〈おばけ〉

くろだかおる／作 せなけいこ／絵 ひかりのくに

すいかをつまみ食いしたゆうれいが、つみほろぼしにしたことは？

7月

3・4年生に読みたい絵本

『ともだちやもんな、ぼくら』 〈夏休み・友だち〉

くすのきしげのり／作 福田岩緒／絵 えほんの杜

なつやすみ、ヒデトシ、マナブ、ぼく
の三人はカブトムシを見つけたのだが、
その木は、近所でも有名なカミナリじ
いさんの家の木だったので。



『水は、』 〈自然・雨〉

山下大明／写真・文 福音館書店

力強く美しい写真から、水の恵みのありがたさが伝わってきます。

『4こうねんのぼく』 〈家族・父子〉

ひぐちともこ／さく・え 草炎社

父と子の関西弁の会話が、明るくせつない父子家庭の話。

『たなばた』 〈七夕〉

君島久子／再話 初山滋／画 福音館書店

中国の話をもとにした、七夕の由来話。

『もぐてんさん』 〈夏・家族〉

やぎたみこ／作・絵 岩崎書店

がんちゃん家族ともぐてんさんの不思議で楽しい夏の日。

『ぼくはへいたろう ～「稲生物怪録」より』

小沢正／文 宇野亜喜良／絵 ビリケン出版 〈怖い話・おばけ〉

きもだめしの後、へいたろうの家には毎晩ばけものがあらわれて…。

7月

5・6年生に読みたい絵本

『しにがみさん ～柳家小三治・落語「死神」より』

〈落語・怖い話〉

柳家小三治／〔原作〕 野村たかあき／作・絵 教育画劇

死神は、金がなくて困っている若い父親を助ける。
ところが、父親は欲に目がくらみ…。
落語「死神」を題材にした恐ろしくも滑稽なはなし。



『かえるのどびん』 〈自分探し〉

野村たかあき／作・絵 教育画劇

泳ぎが苦手なかえるのどびん。いつも負けてばかりで、しょんぼり。

『あつさのせい?』 〈夏〉

スズキユージ／作 福音館書店

とても暑い日。忘れ物を見つけて、拾って、また忘れ…。

『アンドルーのひみつきち』 〈発明〉

ドリス・バーン／文・絵 千葉茂樹／訳 岩波書店

もの作りの好きなアンドルー、家族からはしかられてばかりですが…。

『しゃっくりがいこつ』 〈ユーモア〉

マーゼリー・カイター／作 S.D.シンドラー／絵 黒宮純子／訳 セーラー出版
がいこつがしゃっくりをとめるには、いきをとめる？ 水をのむ？

『このよでいちばんはやいのは』 〈速さ・科学〉

ロバート・フロマン／原作 天野祐吉／翻案 あべ弘士／絵 福音館書店

動物、乗り物にはじまり、音、地球、光、もっと速いものとは？

8月

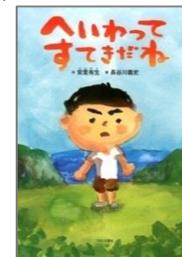
1・2年生に読みたい絵本

『へいわってすてきだね』 〈平和〉

あさと ゆうき

安里有生／詩 長谷川義史／画 ブロンズ新社□

6歳の少年が、沖縄県全戦没者追悼式で朗読した詩と、心動かされ彼に会いに行った絵本作家による合作。
平易でありながら魂のこもった沖縄発・平和へのメッセージ。



『なつのいちにち』 〈夏〉

はたこうしろう／作 偕成社

夏の音、におい、空気感が、絵からあふれ出す！

『すいかのめいさんち』 〈夏・ユーモア〉

平田昌広／作 平田景／絵 鈴木出版

名産地ならではの楽しい絵本。まるごと1個食べたいね。

『かとりせんこう』 〈夏・ユーモア〉

田島征三／作 福音館書店

「けむりがもんもん かがぼとん」。繰り返しが楽しい絵本。

『くだものだもの』 〈夏・言葉遊び〉

石津ちひろ／文 山村浩二／絵 福音館書店

くだものたちが海水浴に。言葉遊びも楽しめる。

『くさる』 〈命のつながり〉

なかのひろたか／さく 福音館書店

生きものは生まれて、死んで、腐って土にかえる。科学絵本。

8月

3・4年生に読みたい絵本

『いのちのまつり「ヌチヌグスージ」』

くさば かずひさ へいあんざ もとなお 〈命のつながり〉
草場一壽／作 平安座資尚／絵 サンマーク出版

沖縄では、ご先祖様のお墓の前に、
親戚中が集まって歌い踊ります。
「ご先祖様」は自分に命をくれた
人のことをいうんですって、
ずっとずっと宇宙の始まりから、
いのちの旅は無限に続いてきました。



『162ひきのカマキリたち』 〈昆虫〉

得田之久／さく 福音館書店
同じ卵のうから生まれた子どものうち命をつなぐのは1匹。

『にじいろのさかな』 〈分かち合う〉

マーカス・フィスター／作 谷川俊太郎／訳 講談社
輝くうろこを持っていながら、幸せでなかった魚のはなし。

『ぼくからみると』 〈夏〉

高木仁三郎／ぶん 片山健／え のら書店
夏の池を、いろいろな生きものの視点から見ると。

『お化けの真夏日』 〈日本の夏・お化け〉

川端誠／作 BL出版
暑い夏を涼しく過ごすための、昔ながらの楽しい知恵。

『はちうえはぼくにまかせて』 〈夏休み・調べる〉

ジャン・ジロン／さく マガレット・ブロー・グレアム／え
もりひさし／やく ペンギン社
夏休みのアルバイトは、旅行する人の鉢植えを預かる仕事。

8月

5・6年生に読みたい絵本

『いわたくんちのおばあちゃん』 〈戦争〉

天野夏美／作 はまのゆか／絵 主婦の友社

いわたくんちのおばあちゃんは、
絶対に家族と一緒に写真をとらん。
一緒に写真に写った家族が、
みーんな死んでしまった、
広島あの八月が忘れられんから。
ずーっと家族と一緒にいたいから。



『そらいろ男爵』 〈戦争〉

ジル・ボム／文 テイラー・デデュー／絵 中島さおり／訳
主婦の友社
空から本を落とせば、戦争は終わる。ハッとする寓話絵本。

『ぼくのこえがきこえますか』 〈戦争〉

田島征三／作 童心社
戦争で戦い死んだぼくの声、あなたに伝えたい。

『オットー ～戦火をくぐったテディベア』

〈戦争〉

トミー・ウンゲラー／さく 鏡哲生／やく 評論社
テディベアとユダヤの少年は、戦火のドイツで別れる。

『いきのびる魔法』から「うつくしいのはら」

西原理恵子／著 小学館 〈戦争〉
いつか貧しい生活から脱出したい。だから字を覚え勉強する。

『つくもがみ ～京極夏彦の妖怪えほん』

京極夏彦／作 城芽ハヤト／絵 岩崎書店 〈妖怪〉
百年大事につかわれた道具は、うれしくてつくもがみになる。

9月

1・2年生に読みたい絵本

『だってだってのおばあさん』 〈敬老〉
佐野洋子／さく・え フレーベル館

「だってわたしはおばあちゃんだもの」が口ぐせのおばあさん。99歳の誕生日に、ろうそくが5本しかなかったので、口ぐせが「だってわたしは5歳だもの」に変わりました。そして、ねこと一緒にいろいろなことをしましたよ。



『おつきさまはまあるくなくっちゃ!』 〈月〉
ふくだじゅんこ／文・絵 大日本図書
細いおつきさまが、おばあさんが作ったスープを食べたらどうなる？

『たぬきのおつきみ』 〈お月見〉
内田麟太郎／作 山本孝／絵 岩崎書店
秋、稲穂は実り、野菜もたくさんできて、山のたぬきたちも大喜び。

『つきをあらいに』 〈月〉
高木さんご／作 黒井健／絵 ひかりのくに
きつねのコンタは満月の夜にみんなで月を洗うと聞いて…。

『ひるまのおつきさま』 〈月・科学〉
遠藤湖舟／さく フォニックス書店
月は、夜見えるだけではありません。昼間の月はどこにいくの？

『アヒルだってば! ウサギでしょ!』 〈お話会の導入〉
エイミー・クロウズ・ローゼンタール／さく トム・リヒテンハルト／さく
いまえよしとも／やく サンマーク出版
ものの見え方って人それぞれ。不思議でゆかいなだまし絵絵本。

9月

3・4年生に読みたい絵本

『中をそうぞうしてみよ』 〈科学・工業製品〉
佐藤雅彦／作 ユーフラテス／作
福音館書店

身近なものの中身をX線写真を使って透かしてみたら、いつもと違うものや見えなかったものが見えてきます。想像力を刺激する絵本です。



『あたごの浦 ～讃岐のおはなし』 〈月〉
脇和子・脇明子／再話 大道あや／画 フォニックス書店
満月の夜、あたごの浦で、魚たちが演芸会を開きました。

『しまふくろうのみずうみ ～北の森から』 〈自然〉
手島圭三郎／絵・文 リブリオ出版ほか
北海道の山奥の湖。三日月がしまふくろうの親子の影をうつします。

『だいじょうぶだいじょうぶ』 〈敬老〉
いとうひろし／作・絵 講談社
「だいじょうぶ」のことばを、今度はおじいちゃんにいう番。

『ラブリーオールドライオン
～おじいちゃん、わすれないよ』 〈敬老〉
ジュリア・ジャーマン／さく スーザン・バーレイ／え
こだまともこ／やく フレーベル館
認知症になったおじいちゃんライオンと孫の温かな交流。

『たかこ』 〈友だち〉
清水真裕／文 青山友美／絵 童心社
ぼくのクラスに平安貴族みたいな女子の転校生がやってきた。

9月

5・6年生に読みたい絵本

『おばあちゃんのおはぎ』 〈秋分の日〉
野村たかあき／作・絵 佼成出版社

秋のお彼岸。
おばあちゃんときりちゃんは、
ご先祖様にお供えするおはぎを作ります。
その後、家族みんなでお墓参りに行きました。
た。三色おはぎのレシピもついています。



『ひらがなにっき』 〈敬老〉

若一の絵本制作実行委員会／文 長野ヒデ子／絵 解放出版社
60歳を超えて文字を学び始めた吉田さんの作品からうまれた絵本。

『ひがんばんな』 〈秋分の日・科学〉

甲斐信枝／さく 福音館書店
多くの別名を持つひがんばんなのふしぎな生態を丁寧に描いています。

『3びきのかわいいオオカミ』 〈ユーモア〉

ユージーン・トリビザス／文 ヘレン・オクセンバリー／絵
こだまともこ／訳 富山房
主人公は「こぶた」ではなく「オオカミ」！？ 楽しいパロディ。

『地球をほる』 〈ユーモア〉

川端誠／作 BL出版
地面に穴を掘って地球の裏側に行ってみよう。着いた所はどこ？

『もっちゃうもっちゃうもうもっちゃう』 〈ユーモア〉

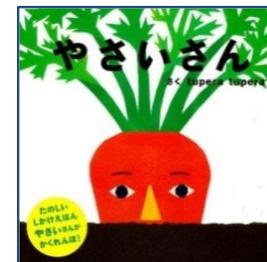
土屋富士夫／作・絵 徳間書店
おしっこがもれそう！デパートのトイレに行ったけど、どうなる？

10月

1・2年生に読みたい絵本

『やさいさん』 〈食べ物〉
tupera tupera／さく 学研教育出版

畑に実ったいろいろな“やさいさん”。
普段目にするの姿でない姿で登場です。
見開きごとに隠れている野菜たちに
リズムカルに問いかけ、考えながら
読み進めていける楽しい仕掛け絵本
です。



『おおきなかぼちゃ』 〈秋〉

エリカ・シルバーマン／作 S. D. シンドラー／絵
おびかゆうこ／訳 主婦の友社
魔女たちは大きなかぼちゃに悪戦苦闘。ハロウィンに読みたい本です。

『さんまいのおふだ』 〈昔話〉

水沢謙一／再話 梶山俊夫／画 福音館書店
山姥対小僧・和尚の掛合に注目。言葉の響きが味わいを増しています。

『ナミチカのきのこがり』 〈秋〉

降矢なな／作 童心社
初きのこがりで不思議な事が起こります。きのこ博士にもなれそう。

『まあ、なんてこと！』 〈ユーモア〉

デイビッド・スモール／作 藤本朝巳／訳 平凡社
目覚めたら変身してたから本人は大はしゃぎ、家族は大騒ぎ！

『やまこえのこえかわこえて』 〈秋・秋祭り〉

こいでやすこ／さく 福音館書店
満月の夜のいつもの買い物も、お祭りも無事終わりホッと。

10月

3・4年生に読みたい絵本

『りょうりをしてはいけないなべ』 〈ユーモア〉

シゲタサヤカ／作・絵 講談社

町のレストランにやってきた新しい鍋。擬人化された鍋は料理中に口から料理を吐き出し、お役御免になってしまいます。はっきりとした色調で描かれ、思わず笑ってしまう絵本です。



『あしなが』 〈友だち〉

あきやただし／作・絵 講談社

のら犬たちの心の動きに注目。とても優しい気持ちにさせてくれます。

『しずかに!ここはどうぶつのとしょかんです』

〈図書館〉

ドン・フリーマン／作 なかがわちひろ／訳 BL出版

図書館が大好きな女の子の想像の世界を描いた、可愛らしいお話。

『としょかんねずみ』 〈図書館〉

ダニエル・カーク／文と絵 わたなべてつた／やく 瑞雲舎

図書館のねずみが、本の創作や読書の素晴らしさを教えてくれます。

『どんぐりのき』 〈秋〉

亀岡亜希子／[作] PHP研究所

どんぐりの木とリスたちの関係が、徐々に変化して心が温まります。

『はしれ!カボチャ』 〈昔話〉

エバ・マフ／文 アンドレ・レリア／絵 宇野和美／訳 小学館

おばあさんと動物たちの駆け引きの繰り返しが、心地いい外国の昔話。

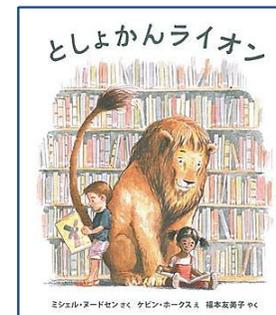
10月

5・6年生に読みたい絵本

『としょかんライオン』 〈図書館〉

ミシェル・ヌードセン／さく ケビン・ホクス／え
福本友美子／訳 岩崎書店

図書館はお行儀よく決まりが守れば誰でも利用できるって本当でしょうか？ライオンが図書館で巻き起こした事件に心が締め付けられます。こんな図書館があればいいなあと思わせるやさしさ漂う絵本です。



『エリザベスは本の虫』 〈図書館〉

サラ・スチュワート／文 デイビット・スモール／絵

福本友美子／訳 アスラン書房

本が大好きな女性のフィクション。デザインされた頁が魅力的な一冊。

『おばあさんのしんぶん』 〈新聞・新聞週間〉

松本春野／文・絵 岩國哲人／原作 講談社

新聞にまつわる少年とおばあさんの感動エピソードです。泣けます。

『かえってきた風来坊』 〈痛快〉

川端誠／作・絵 教育画劇

木彫り名人の風来坊と戦好きの殿様の大勝負。超ハラハラ・ドキドキ。

『黒グルミのからのなかに』 〈命〉

ミュリエル・マンガー／文 カムデン・セコウイア／絵 ときありえ／訳 西村書店

死神を介して、グローバルな観点で生と死について考えさせられます。

『やまなしもぎ』 〈昔話〉

平野直／再話 太田大八／画 福音館書店

細かく描き分けられた絵が魅力的な語り継ぎたい名作。

11月

1・2年生に読みたい絵本

『びっくりまつぼっくり』 〈秋〉
多田多恵子／ぶん 堀川理万子／え 福音館書店

瓶につめられたまつぼっくり。
どうやって入れたのか不思議です。
水にぬれると変化するまつぼっくりを
知ることができます。



『いもいもほりほり』 〈いもほり〉

西村敏雄／作 講談社
秋はいもほり。ぶたの兄弟がおいもを食べるまでの話。

『ざぼんじいさんのかきのき』 〈秋・食べ物〉

すとうあさえ／文 織茂恭子／絵 岩崎書店
柿を独り占めするおじいさんと気転がきくおばあさんとの楽しい話。

『ねんどぼうや』 〈ユーモア〉

ミラ・ギンズバーグ／文 ジョス・A. スミス／絵
覚和歌子／訳 徳間書店
何でも食べるねんどぼうやが、少し怖いけれど最後はハッピー。

『はっきょいどーん』 〈相撲〉

やまとななこ／作 講談社
力士がぶつかり合う相撲の迫力を感じられる絵本。

『もっともっとおおきなおなべ』 〈秋・食べ物〉

寮美千子／作 どうかや／絵 フレーベル館
シチューを入れるための大きなお鍋をさがします。最後のお鍋は…。

11月

3・4年生に読みたい絵本

『よかったねネッドくん ～英文つき』 〈ユーモア〉
レミー・チャーリップ／さく
やぎたよしこ／訳 偕成社

ネッドくんはパーティーに出かけますが、
何度も危険に遭遇します。ネッドくんは、
その度に幸運に恵まれます。英語訳つき
なので、英語での読み聞かせもできます。



『あたまがいけ』 〈秋・昔話〉

日野十成／再話 斎藤隆夫／絵 福音館書店
ものぐさな男が頭に生えた柿・きのこを売るが最後は…。日本の昔話。

『かえるのいえさがし』 〈冬支度〉

石井桃子／さく 川野雅代／さく 中谷千代子／え 福音館書店
冬眠をするために穴をさがしているカエルのお話。

『ゼラルダと人喰い鬼』 〈愛・食べ物〉

トミー・ウンゲラー／[作] たむらりゅういち／やく
あそうくみ／やく 評論社
ゼラルダの料理は人喰い鬼もとりこにするおいしさ。やがては結婚。

『ひみつのカレーライス』 〈秋・食べ物〉

井上荒野／作 田中清代／絵 アリス館
カレーの種からカレーの木がはえました。不思議な話。

『ほしじいたけほしばあたけ』 〈秋〉

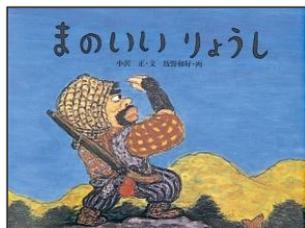
石川基子／作 講談社
ほしじいたけとほしばあたけがタマゴタケを助ける力強さが伝わる話。

11月

5・6年生に読みたい絵本

『まのいいりょうし』 〈秋・昔話〉
小沢正／文 飯野和好／画 教育画劇

鉄砲が下手で、間の悪いどんべえさん。
ところが猪、栗の実、うさぎ、鯉と
間がよく手に入って、最後は、泥棒を
捕まえて長者の娘と結婚する日本の
昔話です。



『うしはどこでも「モ〜!」』 〈外国の文化・言葉〉
エレン・スラスキー・ワインスティーン／作
ケネス・アンダーソン／絵 桂かい枝／訳 鈴木出版
日本・イギリス・スペインなど言葉は違っても牛の声は「モー」。

『おじいちゃんのコート』 〈歴史〉
ジム・エイルズワース／文 バーバラ・マクリントック／絵
福本友美子／訳 ほるぷ出版
コートがうわぎ、うわぎがベスト、ベストが…そしてお話が残った。

『1つぶのおこめ ~さんすうのむかしばなし』 〈知恵の力・算数〉
デミ／作 さくまゆみこ／訳 光村教育図書
一粒の米を30日の間、前の日の倍をもらうとどうなるかな。

『干し柿』 〈秋・食べ物〉
西村豊／写真・文 あかね書房
しぼ柿が太陽や風の力で甘くなり干し柿になることがわかる絵本。

『モンゴルの黒い髪』 〈外国の文化・民族〉
バーサンスレン・ボロルマー／絵・文 長野ヒデ子／訳 石風社
家族を守るため知恵をだして、黒髪の翼を作った女たちの話。

12月

1・2年生に読みたい絵本

『わたしはあかねこ』 〈人権〉
サトシン／作 西村敏雄／絵 文溪堂

みんなと違う毛の色だけど、
わたしはわたし。
そのままの自分がいい。
ありのままの自分を好きになる、
力の湧いてくる絵本。



『どんなかんじかなあ』 〈人権〉
中山千夏／ぶん 和田誠／え 自由国民社
他人を理解し、思いやる心を育てるきっかけになる一冊。

『わたし』 〈人権〉
谷川俊太郎／ぶん 長新太／え 福音館書店
「わたし」を通して、家族や社会との関係に改めて気付かされます。

『おおきいつりー ちいさいつりー』 〈クリスマス〉
ロバート・バリー／さく 光吉夏弥／やく 大日本図書
大きくても小さくても、どんなつりーもいいものです。ほのぼのしたお話。

『ゆきだるまはよるがすき!』 〈雪・ユーモア〉
キャリン・ビーナー／ぶん マーク・ビーナー／え せなあいこ／やく 評論社
ゆきだるまの秘密がのぞける、素敵な夜の世界へご招待!

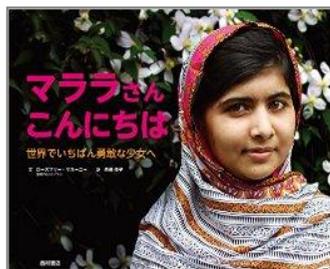
『びんぼうがみとふくのかみ』 〈年越し・昔話〉
富安陽子／文 飯野和好／絵 小学館
働き者で人の好い夫婦と憎めない貧乏神。味のある絵が楽しい昔話。

12月

3・4年生に読みたい絵本

『マララさんこんにちは ～世界でいちばん勇敢な少女へ』
ローズマリー・マカーニー／文 西田佳子／訳 西村書店
〈人権・ノーベル賞〉

史上最年少の17歳で
ノーベル平和賞を受賞した、
マララ・ユスフザイに勇気を
もらった、世界中の女の子からの
メッセージを綴った写真絵本。



『十二支のはじまり』 〈干支〉

岩崎京子／文 二俣英五郎／画 教育画劇
温かみのある絵と、民謡調の語り心地よい、十二支の由来のお話。

『ほんとうのことをいってもいいの?』 〈人権〉

パトリシア・C・マキサク／文 ジゼル・ポター／絵
ふくもとゆきこ／訳 BL出版
正直に本当のことを言うのは、いいこと?大切なメッセージが伝わる一冊。

『カタッポ』 〈冬〉

大原悦子／文 山村浩二／絵 福音館書店
片方だけ落とされた手袋たちが、持ち主を探して大冒険!

『ピンクがすきってきめないで』 〈人権〉

ナター・ホズ／文 伊ヤ・グリーン／絵 ときありえ／訳 講談社
女の子らしく、男の子らしくって何?自分らしさの大切さがわかる本。

『ちいさなつきがらす』 〈人権〉

マーカス・フィスター／作 谷川俊太郎／訳 講談社
いじめた側の心情が描かれた絵本。銀色の使い方が印象的です。

12月

5・6年生に読みたい絵本

『ありがとう、フォルカーせんせい』 〈人権〉
パトリシア・ポラッコ／作・絵
香咲弥須子／訳 岩崎書店

他人に分かってもらえない
LD (学習障害) 児の苦悩と、
それを見抜き、寄り添ってくれた
先生との出会いと喜びが
心に響く一冊。
作者の自伝的なお話。



『おにのめん』 〈年越し・落語〉

川端誠／[作] クレヨンハウス
オチも楽しい、人情味たっぷりの痛快落語絵本。

『ヘンリー・ブラウンの誕生日』 〈人権〉

エレン・レヴァイン／作 ガティール・ネリソ／絵 千葉茂樹／訳 鈴木出版
200年程前のアメリカで本当にあった、奴隷のヘリーの自由への脱出のお話。

『300年まえから伝わるとびきりおいしいデザート』 〈歴史〉

エミリー・ジェンキンス／文 ソフィー・ブラッコール／絵 横山和江／訳 あすなろ書房
ひとつのデザートを通して、4つの時代が魅力的に描かれ、見応えあり!

『マッチ箱日記』 〈移民・人生〉

ポール・フライシュマン／文 バグラム・イバトゥーリン／絵
島式子 島玲子／訳 BL出版
思い出の品を入れたマッチ箱。曾祖父が半生を語る、味わい深いお話。

『もうすぐおしょうがつ』 〈年越し・家族〉

西村繁男／さく 福音館書店
昔ながらの慌ただしくも賑やかな年末の様子が楽しく描かれています。